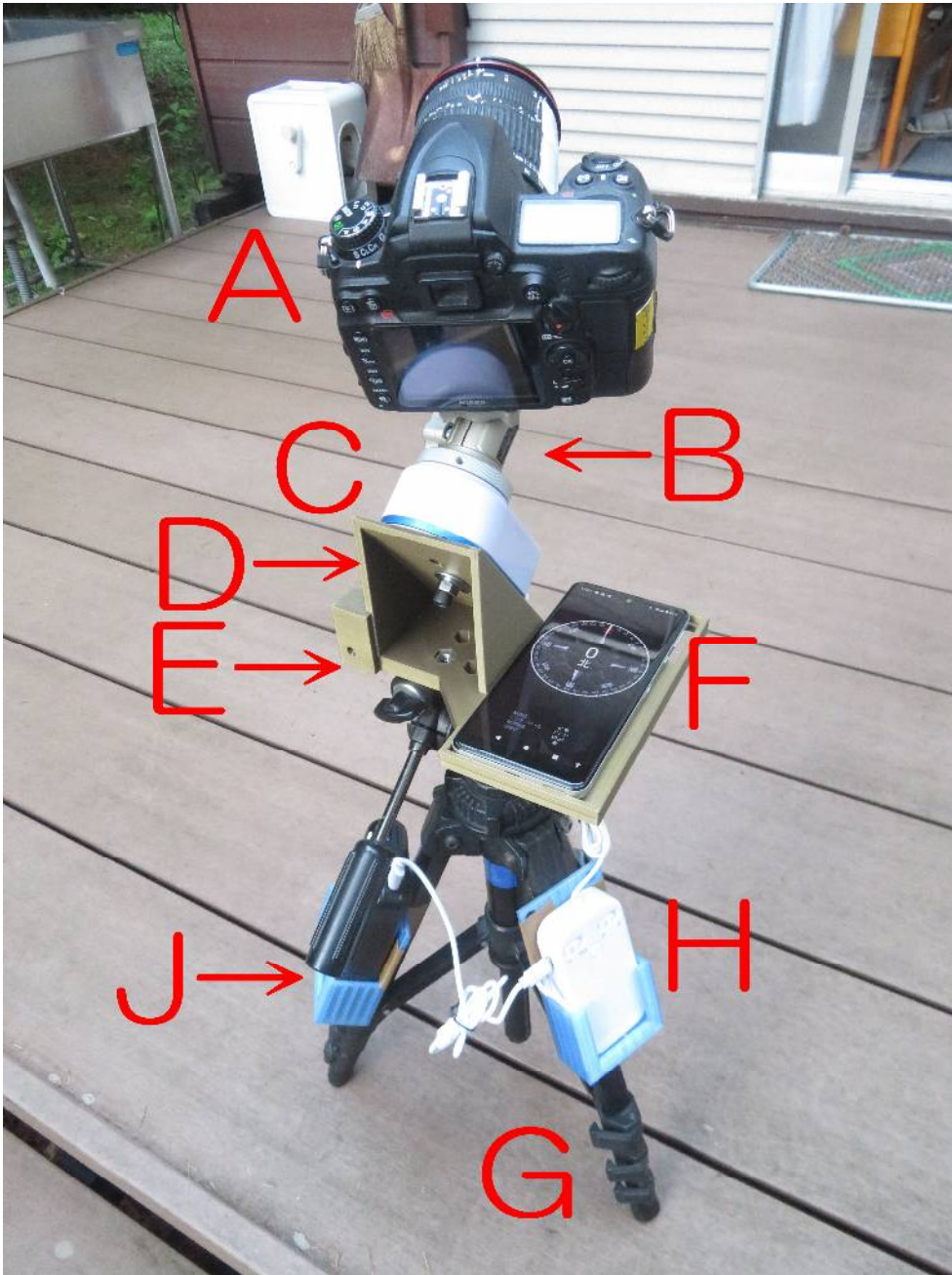


安価で操作も簡易な天体写真儀の登場で、天体写真の世界は劇的に変化しました。誰でも星雲や星団の写真を手軽に撮影することが可能になったからです。しかし、私は広角のデジタル一眼レフカメラによる、星野写真（せいやしん）にこだわり続けています。最近、ナノトラッカー（超小型の赤道儀）を使った、「オールインワン赤道儀」を完成させました。以下は写真の装置の説明です。



A; デジタル一眼レフカメラ。コンパクトデジタルカメラでも良い。ホルダーがあればスマホでも可能。

B; 自由雲台。カメラを対象の天体に向けて固定するのに使用。

C; ナノトラッカー本体。超小型ながら、精度の良い電動赤道儀。恒星の日周運動を自動的に追尾する。

D; ナノトラッカー台座。3Dプリンターで設計、自作。関東地方用の角度に調整してある。

E; 台座に付属する北極星（極軸）確認穴。

F; 台座に付属するスマホ置台。スマホアプリで、方位と台座の水平を確認する。

G; 三脚。通常の三脚で良い。できるだけ頑丈で重いものの方が安定する。

H; ナノトラッカーのバッテリーケース兼コントローラーと、そのホルダー（3Dプリンターで自作）

J; 外部電源（モバイルバッテリー）と、そのホルダー（3Dプリンターで自作）

これで、観測地の到着してから数分で撮影開始ができるようになりました。以前石垣島に持参した木製のものよりもずっと頑丈で、精度も良いことがわかりました。今のところ、かなり完成度が高いと思っています。

※汎用3Dデータは、ご自由にお使いください。